



11月の園だより

令和7年11月1日

目黒区立田道保育園長

2歳児クラスは、園庭で捕まえたカナヘビを育てています。子どもたちは保育士と一緒にカナヘビのエサを探しに虫網を片手に、園庭へ蝶々やバッタを探しに行きます。「たくさん捕まえないと、カナヘビさんおなかいちやうよね」と保育士に声をかけながら真剣な表情で餌になる虫を探しています。園庭で4歳児クラスの友達がクモを捕まえるとそばに行き「おにいちゃん、そのクモ、カナヘビのエサにするからちょうだい」と声をかけていました。しかし「僕が捕まえたのだから、だめだよ」と返されていました。それでもあきらめずにランタナにとまる蝶や草をかき分けてバッタを探しています。やっと捕まえた蝶をクラスに持ち帰り、飼育ケースに入れると、子どもたちは食べる様子を飼育ケースに顔をつけて目を丸くして見ていました。生き物を観察し自分たちで世話をしたり、小さな自然に触れ“豊かな心を育む芽”を育てていきたいと思います。

来月、幼児クラスはにこにこ子ども会を行います。活動の中で表現遊びを取り入れ楽しんでいます。子どもたちが取り組む過程の中で、自己発揮しながら一つの作品に向かい、友達同士で協力し合って作り上げていく姿を見守ってきたいと思っています。



歯科検診 9:00~(全クラス)
交通安全指導教室(5歳児クラス)
※中旬 身体計測 避難訓練

<お知らせ>

幼児クラスは12月に
「にこにこ子ども会」を行います。
詳細は別途お知らせします。



『 袋いっぱい! 』 4・5歳児クラス

バスに乗って芋ほり遠足に行ってきました。「あと〇回寝たら遠足だよ」とカレンダーを見て指折り数えていた子どもたち。窓の外に芋畑が見えると「あ、あそこで掘るのかな」と期待が膨らみます。畑に着いて掘り始めるとすぐに土の中に芋の頭が見えました。しかし、引っ張ろうとすると途中でポキッと折れてしまいました。「あれ」と不思議そうに掘り進めると、折れてしまった残りの芋が見えてきました。「こんなに下まで続いていたんだ」と発見していました。次からは周りの土を深く掘ってみたり、芋を揺らして抜けそうか確認してみたりと考えて工夫して掘る姿がありました。徐々にコツをつかんでいき、次々と芋が土から出てきて掘ることに夢中になり気づくと「みて。袋いっぱいになった」と嬉しそうに見せてくれました。少し小さめの芋を見つけると「これならめだか組さんが食べれそう」「これはあひる組さんかな」と保育園で待っている小さいクラスの友達を思い浮かべる素敵な会話も聞こえてきました。

芋ほり遠足で掘ってきた芋は保育園のみんなで焼き芋にして食べました。「おいしいね」と言ってもらい、どこか誇らしげな表情が可愛い、いるか組、くじら組の子どもたちでした。





外で遊ぶのって楽しい！

散歩先で遊ぶ3歳、4歳、5歳児クラスの子どもの様子をご紹介します。

『 散歩大好き 』

3歳児クラス（ぺんぎん組）

散歩が大好きなぺんぎん組は「やった、お散歩だ」と毎日大喜びです。庭よりも広い空間で大好きなおオカミごっこをして走り回ったり、運動会でのかけっこのように「よいードン」と言って走ることを楽しんでいます。身体を動かして遊ぶこと以外にも散歩先ならではの楽しみがあります。それは、様々な物を見つけたり、探したりすることです。草むらをジーッと見つめダンゴムシやバッタなど大好きな虫を探して捕まえたり、木の実や色とりどりの花など散歩先ならではの自然や植物を見つけては目を輝かせています。ふと木を見上げると葉の裏にはたくさんのセミの抜け殻が。どうやって取ろうかとみんなで話していると、思い切りジャンプをしたり、長い枝を探したりと、いろいろと考え一生懸命取ろうとする姿はとても可愛く、頼もしさを感じます。とても気持ちのいい季節、庭では見つけれないたくさんの“みいつけた”を探して楽しんでいきたいと思います。



『 クラスのみんなで 』

4歳児クラス（いるか組）

散歩の日は「今日は散歩だね」「中目黒公園だよ」と子どもたち同士で話しては喜んでいます。先日の運動会で見たくじら組のリレーを真似て、いるか組でもやってみました。初めてのバトンを持って全員でのリレー「がんばるぞ」「負けないぞ」と気合が入っています。走っている友達を「がんばれ」と応援している姿は運動会の時にも負けないぐらいの声援でした。勝負がつくと負けたチームが「もう1回やりたい」と言って2回戦が始まります。勝負の結果は1対1の引き分けになり互いに喜んでいました。その後も公園や園庭に行くと「リレーやりたい」と子どもたちから声が出るほどお気に入りの遊びになりました。公園での自由遊びでは探索や追いかけっこなどを気の合う友達とたくさん遊んでいます。クラスみんなで遊ぶ中で喜びや悔しさなども共有しながら楽しんでいます。

『 たくさん話し合って 』

5歳児クラス（くじら組）

公園に着いて体操を終えると早速「鬼ごっこしようよ」「探索行こう」「虫探ししたい」と好きな遊びに向かいます。特に子どもたちの中で楽しんでいる氷鬼では「今日の公園は広いから鬼は5人にしよう」「あっちは行っちゃだめね」と子どもたち同士でルールを決めて遊んでいます。タッチされ氷になっても「助けて」と大きな声で仲間を呼んだり「そっち守って、私がこっち見てるから」と協力したりと、友達同士で作戦を考えたり、話し合う姿があり成長を感じています。時には「今のはタッチじゃない」「ルール守ってやろうよ」と言い合いになることもまだまだありますが、その度にたくさん話し合って解決し“友達と一緒にだから楽しい”を遊びの中でたくさん経験しています。

